

浴室 カビの予防

Point カビの原因になるものを残さない

石鹸やシャンプーの残り、皮脂汚れはカビの栄養源になります。
入浴後は浴室内を洗い流してください。

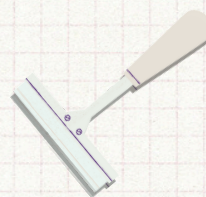
一般のユニットバスも
木製の浴室も
カビの予防方法は同じです！

Point 乾燥させる

浴室は24時間の換気を推奨します。ドア・窓を閉め、換気扇を回してください。

準備するもの

- ・お風呂のシャワー
- ・水切りワイパー
- ・備え付けの換気システム



1. 壁や床にシャワーで熱めのお湯をかけ、石鹸やシャンプーの残り、皮脂汚れを洗い流します。
さらに冷水をかけ、室温を下げておくと、カビ予防に効果的です。



2. 水切りワイパーを使い、洗い流した部分の水分を取り除きます。
天井など、湿気による水滴も取り除きましょう。



3. ドア・窓を閉めて、換気扇を回してください。
(24時間換気が有効です)

浴室の換気扇は、
ドア・窓を閉めてお使いください。
換気扇の**最も効果的な使い方**です。

浴室の換気扇は、空気を扉の給気口から取り入れ、浴室全体を通し、換気扇へ流れていくよう設計されています。

窓を開けると、空気の流れが変わってしまい、浴室全体を換気することができなくなってしまいます。その為、換気扇を回し、さらにドア・窓を開けるような使い方は、あまり良い使い方とは言えません。



- ・残り湯には皮脂が含まれる為、掃除には適しません。シャワーからお使いください。
- ・浴槽に溜めたお湯により、浴室内の湿気が増えます。
入浴後はお湯を抜くか、浴槽にフタをして、浴室のお手入れを行ってください。
- ・浴室の使い方、家ごとに汚れやすい部分は異なりますが、
洗い場近くに、跳ね返りの付着が多い傾向があります。念入りに行いましょう。



- ・照明器具には水がかからない様、ご注意ください。温度変化によるガラスの破損や水漏れ、故障などの原因になります。
- ・脱衣室も換気を心掛けましょう。バスマット下のカビの予防のため、体の水気は一定程度落としてから利用し、ご利用毎に干していただくことをおすすめします。
- ・換気能力を損なわないよう、上部または下部給気口も掃除を行いましょう。

